

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	01	02	01	景観計画推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	09	景観まちづくり推進事業

実施計画整理番号	
401020101	
総合戦略 整理番号	32303

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	茂原市の景観が、憩い、安らぎ、趣きがあり、ふるさと景観として愛着が持てるようにめざす。	・景観資源52箇所の存在を市民に広めるなど、身近な資源に対する関心を高めてもらえるよう、案内看板の設置等を積極的に行う。 ・景観資源に選ばれた公共施設(富士見緑道)が、市民等に喜ばれ、愛されるよう、目に見えるかたちで整備を行う。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
市民協働による景観形成施策の推進	5月 「茂原の景観づくり」増刷。 6月 GISに景観資源を掲載する。 10月 景観資源案内看板の設置。(つつじ園、服部農園、牡丹園)	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	417	417	400	707	0	0	417	0	0	417	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	417	417	400	707	0	0	417	0	0	417	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	景観資源の広報活動	417	417	400	概ね達成できた。引き続き活動していく。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		417	417	400	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
景観資源案内看板を3カ所に設置した。(茂原牡丹園、つつじ園、服部農園)

DO
(実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	401020101
4	01	02	01	景観計画推進事業	7	03	01	09	景観まちづくり推進事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年6月よりGISによる景観資源の情報発信が可能となった。 景観資源案内看板を設置した。 				<ul style="list-style-type: none"> 公開型GIS「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数は182回/12か月であった。 景観資源案内看板を3カ所設置した。(全52カ所のうち、設置済み計6カ所) 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	美しい茂原の景観の周知に努めた。	A:有効である	良好な景観資源を発信することにより、観光客や活気を向上させるために有効である。	B:やや効率的である	景観資源案内看板の1基当りのコスト(約15万円)が掛かる。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	景観資源案内看板及び茂原市わが街ガイドにて、景観資源52カ所の情報発信をしている。	A:実現している	茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議において意見や提言を汲んでいる。	A:実現している	茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議と協働により景観資源の周知に取り組んでいる。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市内52カ所の景観資源を周知するため、景観資源案内看板を適宜設置している。昨年度3カ所設置したことにより計6カ所設置となった。今後も設置数を増やして情報発信に努めていくが、1基当りのコストがネックとなっている。新たな手段として「茂原市わが街ガイド」を活用したアピールの方法も検討していく。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	景観資源案内看板の設置等のPR活動により、景観資源の周知と啓発に一定の成果が挙げられたものと認められる。公開型GIS自体の認知度にも問題があるが、「茂原市わが街ガイド」の活用について検討を進めるものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> GISを活用した景観資源の情報発信 景観資源案内看板の設置 				<ul style="list-style-type: none"> 公開型GIS「茂原市わが街ガイド」の景観資源の閲覧回数 景観資源案内看板の設置数 			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> 景観資源案内看板を1基設置 「茂原市わが街ガイド」の積極的な周知 第4次都市計画マスタープラン推進市民会議報告書の発行 				<ul style="list-style-type: none"> 市民との協働による良好な景観資源の周知 都市計画マスタープラン推進市民会議の第4次から第5次への円滑な移行 				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	02	01	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

実施計画整理番号	
402010101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	土地区画整理事業施行中の茂原駅前通り地区については、中心市街地としての商業・業務環境および住環境の整備を継続的に進めるとともに、集客力のある複合施設等商業核施設の事業化に向けて調査・研究を進めます。	・道路整備により、交通の利便性を向上させ、消防活動を容易とする。 ・地域の活性化および宅地の利用増進を図る。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
限られた予算の中で都市計画道路「高師町下井戸線」の整備を最優先として、暫定供用に向けて事業推進を図る。		①建物移転、道路築造工事の実施 ②まちづくり推進協議会の会議開催

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	114,505	143,578	54,997	189,200	0	0	325,600	0	0	107,100	0	0	
財源内訳	国補助	千円	20,140	20,140	24,145	87,875	0	0	157,940	0	0	42,300	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	71,800	71,800	20,000	77,600	0	0	141,100	0	0	31,100	0	0
	その他	千円	904	904	974	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	21,661	50,734	9,878	23,725	0	0	26,560	0	0	33,700	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	建物移転	97,007	127,046	49,379	前年度からの繰越1件の他、1件の補償契約を締結した。今後も継続して取組む必要がある。
②	道路工事	14,688	14,688	4,158	工事を1箇所実施、工事1箇所を未契約繰越した。今後も継続して取組む必要がある。
③	整地工事	2,560	1,594	1,210	整地工事及び公共汚水樹撤去工事を3箇所実施した。今後も継続して取組む必要がある。
④	効果促進事業	250	250	250	目標が達成され、事業完了となった。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		114,505	143,578	54,997	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

①建物移転補償を繰越分を含み2件実施(1件契約繰越)
 ②道路築造工事(区画道路8-5)を1箇所実施、警察協議に時間を要したために高師町下井戸線の工事1箇所を未契約繰越
 ③整地工事を2箇所、公共汚水樹撤去工事を1箇所実施
 ④イベント「子どもあそび広場」を通じ、区画整理事業のPRを実施

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	402010101
4	02	01	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業	7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	①建物移転補償は繰越分1件を実施し、現年分を契約繰越 ②道路築造工事は現年分1箇所を実施し、1件は未契約繰越 ③まちづくり推進協議会の活動として、役員会、幹事会3回、勉強会、雑談会、視察研修、議会特別委員会との意見交換会を開催				事業進捗率37.1%(約0.3%上昇)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	中心市街地としてふさわしい秩序ある市街地整備を図るため公共事業にて施工する必要がある	B:やや有効である	25年を経過した現在で事業進捗率が37.1%であり、事業の長期化が危惧される	A:効率的である	国の補助制度を活用している。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる	ホームページでの公表「区画整理だより」の発行	A:実現している	まちづくり推進協議会会議	B:実現に向けて取り組んでいる	勉強会・視察研修にて核施設予定地の活用方法や街区の高度利用等を検討		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)	建物移転1件(2棟)が交渉決裂により契約に至らなかった。また、県警との交差点協議に時間を要し、高師町下井戸線の道路築造工事を発注することができなかった。また、権利者から事業が遅延・長期化している状況に対しての不満等も多いことから、早期完成・中心市街地の活性化を目指した事業展開を図る必要がある。						
	企画政策課での評価とその理由							
	C:事業の対象や手法の見直しが必要(達成度3割以下)	中心市街地としての商業・業務環境及び住環境の整備に資する取り組みとして認められるが、事業進捗率の上昇は0.3%に留まっていることから、権利者との継続的な交渉により着実な事業実施に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	①建物移転補償4件の実施 ②道路築造工事3箇所の実施(繰越1件含む) ③まちづくり推進協議会の会議開催				事業進捗率			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
①建物移転、道路築造工事の実施 ②まちづくり推進協議会の会議開催				限られた予算の中で都市計画道路「高師町下井戸線」の整備を進めると共に都市計画道路「おりひめ線」沿いの建物移転を実施し、事業の推進を図る				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
4	02	01	03
本納駅東地区まちづくり整備事業			

予算科目			
款	項	目	事
7	01	03	04
本納駅東地区地区計画道路整備事業			

実施計画整理番号	
402010302	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	本納駅周辺については、準用河川乗川、都市計画道路本納駅東口線等の公共施設整備と併せて、地区計画を定め、防災性と安全性を備えた良好な住環境の形成と圏央道の効果を受け止め商業施設等の立地を誘導し、利便性と魅力ある都市環境を図り、茂原市の北の玄関口に相応しい地区とすることを目標とする。	地区計画内の道路事業用地の取得及び支障物件の移転補償、道路改良工事の設計、工事、施工管理を実施する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
事業用地の取得、及び物件移転補償等を実施する。	予算計上されている用地の取得、物件移転補償について、上半期より地権者と交渉を進めていく。	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	8,000	7,830	7,782	31,000	0	0	20,000	0	0	20,000	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	7,200	7,200	7,000	27,900	0	0	18,000	0	0	18,000	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	800	630	782	3,100	0	0	2,000	0	0	2,000	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	地区計画道路の整備	8,000	7,830	7,782	不動産鑑定2件を行い、2名から事業用地を取得した。乗川橋梁部において橋梁予備設計を行った。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		8,000	7,830	7,782	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
不動産鑑定2件を実施し、2名の地権者より合計4筆の事業用地を取得した。乗川橋梁部において乗川完成断面を想定した橋梁予備設計を発注し、橋梁の構造等の検討を行った。

PLAN (計画)

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	402010302
4	02	01	03	本納駅東地区まちづくり整備事業	7	01	03	04	本納駅東地区地区計画道路整備事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況					29年度成果指標(アウトカム)の達成状況					
	区画1号道路(3-2076)において事業用地の取得、橋梁予備設計を行った。					計画路線における整備率					
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である		本納駅東地区地区計画による道路整備であり、茂原市が関与すべき事業。道路利用者が安全・安心に利用出来るような整備を行う。		A:有効である		地元主体のまちづくり計画であり、防災性と利便性を兼ねた道路網整備の中に位置付けられた路線である。		B:やや効率的である		用地取得や橋梁の架け替え等に多大な時間とコストが必要となる。
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	B:実現に向けて取り組んでいる		地元自治会回覧を行い、進捗状況などの報告を実施している。		B:実現に向けて取り組んでいる		地元説明会や自治会等を通じた意見徴収。		B:実現に向けて取り組んでいる		地元主体のまちづくり計画であり、その中の道路整備について関係者への協力依頼を行っている。
	所管による評価とその理由、課題・問題点										
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		予算計上されていた案件については、一部計画の見直しを行い、必要な調査委託等を実施した。本年度から具体的に整備着手しているが、地元協議会(現在は解散)と地元地権者との間でまちづくりにおける見解が一部相違していたことで構造物を設置することとなり、より大きな事業費が必要となる。								
	企画政策課での評価とその理由										
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		本納駅周辺の都市環境向上に資する取り組みであり、一定の成果が挙げられたものと認められる。準用河川乗川の整備状況と合わせて、計画的に事業の進捗を図るものとする。								
政策調整会議での評価とその理由											
庁議における方針											

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定					30年度成果指標(アウトカム)の設定				
	本年度から交通安全事業に切替え、補助金を活用し事業の進捗を図る。					計画路線における整備率				
30年度における具体的な目標					30年度における事務事業スケジュール					
新たに整備区間に加えた中曽根踏切からほのおか館までの調査を実施すると共に、予備設計を行った橋梁の詳細設計を行う。また、残る事業用地の取得についても地権者と交渉を行う。なお、H30より交通安全施設等整備事業に切替え、補助金(交付金)を活用し整備を行っていく。					新たに区間の調査や橋梁実施設計を上半期に発注する。事業用地取得については、上記の調査等が終了後、線形等が決定した段階で交渉を行って行く。					

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	01	01	(仮称)茂原・長柄スマートIC設置事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	03	(仮称)茂原長柄スマートIC設置事業

実施計画整理番号	
403010101	
総合戦略整理番号	43201

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	圏央道を有効利用するために、(主)千葉・茂原線にスマートIC(ETC車専用)を設置し、市民及び道路利用者の利便性の向上、また、企業立地や生産活動の活性化を図る。	(仮称)茂原長柄スマートインターチェンジ実施計画書に基づき施行する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	道路用地の取得を完了するとともに、早期に道路改良工事を実施し、事業促進に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 道路用地の取得 道路改良工事の実施 建物移転補償の実施

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	267,834	312,624	227,679	175,880	0	0	121,284	0	0	3,000	0	0	
財源内訳	国補助	千円	126,447	150,634	106,128	85,940	0	0	58,142	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	55,000	66,100	49,200	38,400	0	0	26,100	0	0	0	0	
	その他	千円	67,300	79,290	59,144	42,720	0	0	29,071	0	0	1,500	0	0
	一般財源	千円	19,087	16,600	13,207	8,820	0	0	7,971	0	0	1,500	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	スマートICの設置	267,834	312,624	227,679	概ね目標は達成され、今後も継続して取組む必要がある。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		267,834	312,624	227,679	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 道路改良工事を9件実施(2件繰越) 道路用地を6件取得 埋蔵文化財調査(整理)を実施

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	403010101
4	03	01	01	(仮称)茂原・長柄スマートIC設置事業	7	01	03	03	(仮称)茂原長柄スマートIC設置事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・道路用地を6件取得 ・道路改良工事を9件実施(2件繰越) 				<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得率(全体)99.8%(3.6%上昇) ・工事執行率 124,196千円(支出済額)/186,550千円(予算現額)=66.6% 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	市民及び道路利用者の利便性の向上を図るため、公共事業にて施行する必要がある。	A:有効である	スマートICを設置することで、利便性の向上及び、企業立地や生産活動の活性化が図れる。	B:やや効率的である	今後も国の補助制度を活用するとともに、コスト削減が図れるよう努める必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの公表 ・地元説明会 	A:実現している	地区協議会	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会等と協議をおこなっている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	権利者との用地交渉が難航したことにより、用地取得が完了に至らなかった。また、道路改良工事については、2件が繰越となった。課題として、平成32年4月の供用開始予定を少しでも早くできるよう計画的な事業展開を図る必要がある。						
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	一部において用地の未取得箇所があるが、道路用地の取得がほぼ完了し、また道路改良工事でも若干の遅れが見られるが一定の成果が挙げられたものと認められる。今後は平成32年4月の供用開始予定を早めることができるよう、計画的な事業の推進に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・道路用地取得の完了 ・道路改良工事の実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得率(全体) ・工事執行率 			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
道路用地取得を完了するとともに、早期に道路改良工事を実施し、事業促進に努める。				<ul style="list-style-type: none"> ・道路用地取得の完了 ・道路改良工事の実施 				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
4	03	01	03
都市計画道路整備事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
7	03	02	01
街路事業			

実施計画整理番号	
403010301	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	都市計画道路「桑原梅田線」他1路線の事業認可区域内の道路を完成させ、市街地の交通緩和を目的とした補助幹線道路網の整備をする。	事業認可区域内の街路事業用地を取得し、道路改良工事を実施する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	物件調査及び不動産鑑定について早期発注に努める。 用地取得に向け地権者と交渉を行う。	物件調査委託、不動産鑑定等を上半期に執行する。 用地取得及び建物移転補償1件を上半期に実施する。

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	34,285	37,519	7,920	209,620	0	0	25,816	0	0	11,300	0	0	
財源内訳	国補助	千円	18,310	18,310	3,148	115,291	0	0	1,419	0	0	6,200	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	13,300	13,300	3,500	84,800	0	0	21,900	0	0	4,500	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,675	5,909	1,272	9,529	0	0	2,497	0	0	600	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	桑原梅田線の整備	34,285	37,263	7,664	用地取得及び物件補償各1件を実施した。継続して用地交渉を実施する。
②	小林浜町線の整備	0	256	256	不動産鑑定、用地取得を実施した。継続して用地交渉を実施する。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		34,285	37,519	7,920	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

桑原梅田線・・・桑原地区において用地取得(112.38㎡)、物件移転補償各1件を実施した。
 小林浜町線・・・事業認可路線であり、地権者より事業用地について買取り要望のあったことから、用地取得(35.78㎡)1件を実施した。

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	403010301
4	03	01	03	都市計画道路整備事業	7	03	02	01	街路事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	用地取得 2件 148.16㎡				取得率 取得面積 桑原梅田線 8,268.72㎡ / 計画面積 15,336㎡ 53.2% 小林浜町線 2,113.75㎡ / " 3,452㎡ 61.2%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である 都市計画道路として整備する事で、駅周辺の交通緩和が図れるため妥当である。認可区域には建築制限があるため、早期完成が望ましい。		A:有効である 完成後には駅周辺の交通緩和が見込まれる。		A:効率的である 用地購入にあつては不動産鑑定評価、損失補償については千葉県公共用地対策協議会の積算要領により算出しており、経費削減は望めない。			
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる 認可事業であることから告示行為を行っている。		B:実現に向けて取り組んでいる 縦覧期間に意見聴取の機会がある。		その他 権利者個々の交渉となるため、個人情報保護の観点から協働に適さない。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		計画路線において用地取得の進捗が図れた。交付金対象事業であるが補助金の内示率が低く、限られた予算における事業の実施であり、用地交渉にも多大な時間を要する為、事業認可時の計画通りに実施できない状況である。					
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		桑原梅田線に関して、建物等移転補償については計画通りの執行がなされなかったが、事業用地の取得は計画通り進捗しており、一定の成果が挙げられたものと認められる。今後も計画的に用地取得を進め、都市計画道路の早期完成を図るものとする。					
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	用地取得				用地取得率			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
物件調査及び不動産鑑定について早期発注に努める。用地取得に向け地権者と交渉を行う。				物件調査委託、不動産鑑定等を上半期に執行する。用地取得及び建物移転補償1件を上半期に実施する。				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
4	03	01	03
都市計画道路の見直し			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
7	03	01	02
都市計画事務費			

実施計画整理番号	
403010302	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	見直しの対象となる6路線は、今後の建設の見通しがたないうえ、長期にわたり建築規制等、私権を制限していることから、地元関係権利者等の理解を得て、早急に変更・廃止の手続きを行う。	平成30年度の都市計画道路6路線の変更・廃止に向けて、パブコメや地元説明会を開催するために必要な概要書や都市計画道路変更図書、関係権利者調査書の作成業務を委託する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	都市計画道路の見直し素案を策定し、パブリックコメントや地元説明会を実施することにより地元の理解を得ながら平成31年3月までに都市計画道路の見直しの決定・告示をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路の見直し素案の作成 ・千葉県及び警察等関係機関と協議 ・パブリックコメント、地元説明会を実施

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	5,613	5,224	4,212	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,613	5,224	4,212	0	0	0	0	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原都市計画道路変更図書作成業務委託	5,613	5,224	4,212	概ね達成できた。決定・告示に向け必要な手続きを進めていく。
②	関係権利者への説明会の実施	0	0	0	
③	茂原都市計画道路変更手続き	0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		5,613	5,224	4,212	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・長年整備出来ていない都市計画道路のうち、6路線について見直し素案を作成。 ・パブリックコメントや地元説明会を実施し、見直しについて一定の理解が得られた。 ・千葉県や警察署など関係機関との協議。

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	403010302
4	03	01	03	都市計画道路の見直し	7	03	01	02	都市計画事務費	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	長年整備出来ていない都市計画道路について、多角的・段階的に検証し、6路線について変更・廃止の手続きを行った。				・千葉県や警察等との協議。 ・見直しの素案について、都市計画審議会、パブリックコメント及び地元説明会を行い、一定の理解を得られた。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	過去に決定された都市計画道路について、社会情勢の変化等に対応するため、見直しに向けた手続きを行った。	A:有効である	計画区域内の土地について、一定の建築制限をかけることとなるため、必要性が低下し、代替可能な路線について見直し素案を作成した。	A:効率的である	費用対効果の観点からも、実施困難な計画路線の見直し素案を作成した。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	見直し素案について、WEBページで公開、パブリックコメント及び地元説明会を実施した。	A:実現している	パブリックコメントと地元説明会を実施し、一定の理解が得られた。	A:実現している	地元住民、利害関係者からの理解を得ながら、計画の見直しの決定をしていく。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	都市計画道路の見直しについて、当初は平成30年度末の決定・告示を見込んでいたが、協議を進める中で新たな変更路線が生じたため、当初のスケジュールから遅れる見通しとなった。今後も関係機関と協議・調整、都市計画審議会や説明会等を行いながら、平成31年8月の決定・告示に向けて取り組んでいく。						
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	都市計画道路6路線の変更・廃止に向けて、都市計画道路変更図書の作成を行い、一定の成果が挙げたものと認められる。引き続き、地元住民や利害関係者の十分な理解が得られるように留意しながら、事業を進めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	平成31年8月の決定・告示に向けた関係機関との協議や都市計画審議会、説明会等を実施する。				・千葉県や警察など関係機関と協議を適宜行う。 ・説明会、公聴会により地元住民や利害関係者の理解を得ながら手続きを行っていく。			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
平成31年8月の決定・告示に向けて取り組んでいく。				7月 国との下協議 10月 案の概要の説明会 11月 公聴会 12月 国との事前協議 3月 案の縦覧				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
4	03	03	01
バス運行対策事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
7	03	01	11
バス運行対策事業			

実施計画整理番号	
403030101	
総合戦略整理番号	43101

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	運行維持が困難となったバス路線について、学生や高齢者などの交通弱者及び通勤利用者の交通手段を確保する。	運行するバス事業者に補助金を交付し、路線バスの運行を維持する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
・利用者数住民の交通手段の確保・維持を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度にバス事業者と関係市町村で定めた負担割合等に基づき補助金の交付を行う。 契約に基づく用地の借り上げ 平成29年度にバス事業者と関係市町村で負担割合等の協議を行う。 	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	4,988	4,988	4,803	4,988	0	0	4,988	0	0	4,988	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,988	4,988	4,803	4,988	0	0	4,988	0	0	4,988	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	路線バス運行維持支援	4,988	4,988	4,803	<ul style="list-style-type: none"> 補助金を交付し、路線バスの運行維持を図った。 バスの折り返し用の用地を借上げた。 今後も支援を行う。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		4,988	4,988	4,803	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を簡条書きで具体的に記入)

- 路線バスの運行を維持するため、4,767,834円の補助金を交付した。(茂原白里線 1,968,000円、本納白子線 1,133,000円、茂原駅陸沢中央公民館線 820,000円、茂原上永吉大坪線 846,834円)
- 上永吉、千葉眼科先でバスが折り返すための用地を借上げた。(34,991円)
- バス事業者と関係市町村で平成30年度及び平成31年度における負担割合等の協議を行った。

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	403030101
4	03	03	01	バス運行対策事業	7	03	01	11	バス運行対策事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・補助金の交付額 4,767,834円 ・補助金の交付対象路線数 4路線 ・用地借上げ箇所 1箇所				利用者数(路線全体) ・茂原白里線 14,842人 ・茂原上永吉大坪線 920人 ・本納白子線 13,561人 ・茂原駅陸沢中央公民館線 35,589人			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	住民の交通手段の確保のため必要である。	A:有効である	補助金の交付により、廃止予定であった路線の維持が図れる。	B:やや効率的である		必要な施策であるが、特定の地域の施策となっている。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	バス事業者と関係市町村とが協議し、お互いの負担割合等を定めている。	A:実現している	バス事業者と関係市町村とが協議し負担割合等を定めている。	B:実現に向けて取り組んでいる		市町村が支援や広報等で協力し、バス事業者は、鋭意努力する。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該事業については、計画通り執行され、目的とする路線の確保が図られた。また、茂原上永吉大坪線については、平成29年9月末まで路線を維持・確保し、10月以降は、ダイヤ・便数等を調整のうえ市民バスによる運行を実施している。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	交通弱者や通勤通学利用者の交通手段確保に資する取り組みとして認められる。引き続き各路線の利用状況を把握し、バス事業者や関係町村と協議して路線の確保に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	・補助金の交付額 ・補助金の交付対象路線数				・利用者数			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
・住民の交通手段の確保・維持 ・利用者数の確保				・平成29年度にバス事業者と関係市町村で協議し定めた負担割合等に基づき補助金の交付を行う。				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
4	03	03	02
地域公共交通運行事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
7	03	01	11
地域公共交通運行事業			

実施計画整理番号	
403030201	
総合戦略整理番号	43101

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	交通空白地域の解消及び高齢者等の交通弱者の生活交通手段を確保する。	市民バス(定時定路線型)及び指定エリアにおけるデマンド交通(区域運行型乗合タクシー)による運行を実施する。また、茂原市地域公共交通会議を開催し、地域に即した輸送サービスの実現に向け関係事業者等と協議する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
市民バスの利用者数の増 デマンド交通登録者数と利用者数の増 運賃収入以外の収入確保(有料広告) 交通マップの作成及び配布	市民バス運行委託(長期継続契約)、デマンド交通運行委託(随意契約)。市民バス車両残る1台をノンステップバスに更新(4月)。デマンド交通運行委託(10月以降)の指名競争入札(5月)。地域公共交通会議(5月、6月、12月)の開催(運行計画の見直し)。交通マップの作成(9月)と広報掲載	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	25,808	25,808	24,494	25,808	0	0	25,808	0	0	25,808	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	9,790	9,790	9,269	9,790	0	0	9,790	0	0	9,790	0	0
	一般財源	千円	16,018	16,018	15,225	16,018	0	0	16,018	0	0	16,018	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	地域公共交通会議の運営	357	357	170	会議は3回(5月、6月、1月)開催し、6月の会議で運行計画の見直しが決定した。
②	市民バスの運行	22,082	22,082	21,500	利用者は、昨年比で約20%の増となった。今後も利用拡大に努める。
③	デマンド交通の運行	3,369	3,369	2,824	利用者は、昨年比で約19%の増となった。今後も利用拡大に努める。
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		25,808	25,808	24,494	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 市民バスの委託による運行(小湊鉄道株式会社) 市民バスの車両1台をノンステップバスに更新 デマンド交通の委託による運行(有限会社東タクシー、都自動車株式会社) 地域公共交通会議の開催 運賃収入以外の収入確保(有料広告・事業者3社)

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	03	02	地域公共交通運行事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	11	地域公共交通運行事業

整理番号
403030201

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況		29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・市民バス運行本数: 東部コース5.5便/日、北部、南部(五郷)各4便/日、南部(鶴枝)の4.5便/日※平日毎日 年間延4,392便(244日)・地域公共交通会議3回開催(5月、6月、1月)・交通マップの作成及び配布、広報3回(4月、9月、10月)、自治会回覧1回(9月)、自治会説明会1回(11月)		・市民バス「モバス」及びデマンド交通「ふれあい」の運行計画を見直しし10月より運行を開始した。 ・市民バスの利用者数は19,904人(前年比約20%増)、デマンド交通利用者数は1,188人(前年比約19%増)であった。 ・有料広告による運賃収入以外の収入について確保(3社)を図った。			
	妥当性の評価とその理由 A: 妥当である 交通空白地域の解消及び交通弱者の交通手段の確保を目的とした事業であるため		有効性の評価とその理由 A: 有効である 交通空白地域における高齢者等の交通弱者の交通手段として利用されているため		効率性の評価とその理由 B: やや効率的である 運行計画の見直しにより一部効率化を図った。利用者も増えてきている。	
	「情報の共有」の状況とその理由 A: 実現している HP上に情報を掲載している。交通マップを作成及び配布し、「わが街ガイド」でも情報を公開している。		「参加」の状況とその理由 A: 実現している 交通事業者や市民等で組織された地域公共交通会議で連絡調整を行っている。		「協働」の状況とその理由 B: 実現に向けて取り組んでいる 市民、交通事業者、行政で協働の理念のもと、各々の役割を担うことで、持続可能な公共交通体系の構築を目指す。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点 B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割) 平成29年度において運行計画に見直しを行った。市民バスについては、年間延19,904人、デマンド交通については、年間延約1,188人の利用者があり、ある程度の成果をあげている。さらに運行計画見直し後においても利用者数は増加傾向にある。					
	企画政策課での評価とその理由 B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割) 市民バス及びデマンド交通共に前年度より利用者数が増加しており、一定の成果が挙げられていると認められる。しかし、「茂原市地域公共交通計画」における目標値には達していないため、引き続きPRに努めるものとする。					
政策調整会議での評価とその理由 (Blank)						
庁議における方針 (Blank)						

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定		30年度成果指標(アウトカム)の設定	
	市民バス、デマンド交通の運行本数 地域公共交通会議の開催 PR回数		市民バスとデマンド交通の運行管理 市民バスの利用者数 デマンド交通登録者数と利用者数 運賃収入以外の収入確保(有料広告)	
30年度における具体的な目標		30年度における事務事業スケジュール		
市民バスの利用者数の増 デマンド交通登録者数と利用者数の増 運賃収入以外の収入確保(有料広告)		市民バス運行委託(長期継続契約)及びデマンド交通運行委託(随意契約)<4月>、デマンド交通運行委託(10月以降)の指名競争入札<5月>、地域公共交通会議(回数券の導入等)の開催<6月、12月>		

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
4	04	01	02
住宅用省エネルギー設備等設置促進			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
4	01	07	04
住宅用省エネルギー設備等促進事業			

実施計画整理番号	
404010201	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	住宅用省エネルギー設備等の設置を奨励し、地球温暖化防止の意識を高めることにより、市内における二酸化炭素の排出量を削減する。	市内の住宅に住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に対し、千葉県の補助基準の範囲内で補助金を交付する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	太陽光発電システム50件程度、太陽熱利用システム3件程度、地中熱利用システム1件程度、家庭用燃料電池システム15件程度、定置用リチウム蓄電システム15件程度の補助を実施し、家庭におけるエネルギーの安定的な供給並びにエネルギー利用の効率化を図る。	4～3月 住宅用省エネルギー設備等補助金受付

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	8,450	7,649	3,251	8,450	0	0	8,450	0	0	8,450	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	6,950	6,149	3,051	6,950	0	0	6,950	0	0	6,950	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	1,500	1,500	200	1,500	0	0	1,500	0	0	1,500	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	住宅用省エネルギー設備の設置促進	8,450	7,649	3,251	事業者の撤退により当初の見込みより少なかった。引き続き実施する。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		8,450	7,649	3,251	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
平成29年度住宅用省エネルギー設備等補助内訳 住宅用太陽光発電設備 12件1,051,000円 太陽熱利用システム 0件 地中熱利用システム 0件 家庭用燃料電池システム 2件400,000円 定置用リチウムイオン蓄電システム 18件1,800,000円

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	404010201
4	04	01	02	住宅用省エネルギー設備等設置促進	4	01	07	04	住宅用省エネルギー設備等促進事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	平成29年度住宅用省エネルギー設備等補助内訳 住宅用太陽光発電設備12件1,051,000円、太陽熱利用システム0件、地中熱利用システム0件、家庭用燃料電池システム2件400,000円、定置用リチウムイオン蓄電システム 18件1,800,000円				排出抑制されたCO2排出量 34,046.81kg			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	市内の住宅に住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に対し、千葉県補助基準の範囲内で補助金を交付した。	A:有効である	住宅用省エネルギー設備等の設置を奨励することにより、地球温暖化の意識を高め、市内における二酸化炭素の排出量削減を促進した。	A:効率的である	平成29年度は千葉県の補助設備に準じ設備等の見直しを行った。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	ホームページ、広報により制度の概要について周知している。	C:実現の余地がない		C:実現の余地がない			
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	住宅用省エネルギー設備等を補助することにより、市内における二酸化炭素の排出量の削減を促進した。平成29年度については、メーカーの事業撤退により家庭用燃料電池システムの補助件数が見込みより少なかった。						
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	住宅用省エネルギー設備等の設置に対して助成を行うことで、地球温暖化防止に関する市民意識の向上と、市内における二酸化炭素排出量の削減に一定の成果が挙げられたものと認められる。今後も制度の周知を行い、二酸化炭素の排出抑制に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	助成件数				排出抑制されたCO2排出量			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
4~3月 住宅用省エネルギー設備等補助金受付				住宅用太陽光発電設備30件、太陽熱利用システム3件、地中熱利用システム1件、家庭用燃料電池システム15件、定置用リチウムイオン蓄電システム15件程度の補助を実施し、家庭におけるエネルギーの安定的な供給並びにエネルギー利用の効率化を図る。				